

「福島県作業療法学」投稿規程及び執筆要項

第2版：2022年5月10日

I. 投稿規程

1, 投稿内容について

作業療法の学術的発展に寄与する、「原著」「総説」「事例報告」「短報」「研究ノート」（以下、論文）の投稿とします。ただし、他誌に発表された論文、または投稿中の論文はお断りします。

<論文の種類>

原著：実験、調査、臨床経験、理論研究などから得られた独創的で新規性のある知見を含む結果の考察および記述があるもの。

総説：作業療法および作業療法関連科学の特定のテーマについて、過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括がされているもの。

事例報告：特色のある作業療法実践経験について、その後の経過や、治療手段などについて考察を踏まえてあるもの。

短報：独創性のある所見、見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告。

研究ノート：学術論文ではないが、新しい自助具の作成や、研究の資料など、県士会の学術活動に寄与する記事。

2, 倫理的事項について

著者は著作権や研究対象者の人権の尊重に努めて下さい（文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を参照）。また、論文に関連する企業や営利団体等との利益相反（COI）のある場合は明記して下さい。（厚生労働省の「研究に関する指針について」を参照）。

3, 著者について

筆頭著者は原則として一般社団法人福島県作業療法士会（以下、県士会）会員に限ります。ただし、作業療法の発展に寄与すると県士会学術誌編集係が認めた場合はこの限りではありません。共著者は本県士会会員でなくても構いませんが、作業療法士の場合は本県士会の会員であること、当該年度（投稿時）の会費を納めていることを条件とします。なお、原則として筆頭著者は1名、共著者は4名までとし、それを超える場合には学術誌編集係に判断を仰いで下さい。

4, 著作権について

採用された論文の著作権は、県士会に帰属します。

5, 執筆要項について

後出の「執筆要項」に従って下さい。

6, 採否について

原稿の採否は県士会学術誌編集係において決定します。場合により、加筆、修正をお願いすることがあります。また、県士会学術誌編集係の責任において、多少の字句の訂正をすることがあります。

7, 原稿送付方法及び連絡先

①執筆形式の確認：後出の執筆要項に沿っていることを確認してください。

②投稿の承諾：投稿承諾書に記入し、必ず原稿に添付してください。

③投稿フォーマット

④下記メールアドレス宛に【執筆論文（本文）】【図表】ならびに【投稿承諾書】をPDFデータにて添付し提出してください。

※本文と図・表はそれぞれ別データとして添付してください。

メールアドレス：fot.gakujutsu@gmail.com

II. 執筆要項（改訂：2022年5月10日～）

1. 原稿の体裁について

原則として、「福島県作業療法学」投稿フォーマットを使用してください。論文種別の原稿枚数等は以下の通りです。

（○：要，×：不要）

論文種別	原稿表紙	論文要旨	本文	文献	本文原稿枚数 (40字×40行)	図・表
原著	○	○	○	○	10枚	10点以内
総説	○	○	○	○	10枚	10点以内
症例報告	○	○	○	○	8枚	10点以内
短報	○	×	○	○	3枚	2点以内
研究ノート	○	×	○	○	3枚	2点以内

規定枚数について（詳細）

◇原著論文：論文の長さは、本文と文献のみ（図・表なし）の場合、A4サイズ（1枚は40字×40行1,600字）10枚（16,000字には改行等による空白も含む）とします。図・表は10点以内とし、図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください（全ページサイズの図1枚（2,000字分）と表1枚（2,000字分）がある時、本文と文献は7.5枚（12,000字）となる）。図・表の基準は4）図・表についてを参照してください。

◇総説：論文の長さ、図・表は原著論文の規定に準じます（図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください）。

◇症例報告：論文の長さは、本文と文献のみ（図・表なし）の場合、A4サイズ（1枚は40字×40行1,600字）8枚（12,800字には改行等による空白も含む）とします。図・表は原著論文の規定に準じます（図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください）。

◇短報：論文の長さは、本文と文献のみ（図・表なし）の場合、A4サイズ（40字×40行）3枚（4,800字）とし、図・表は2点以内としてください（図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください）。

◇研究ノート：論文の長さ、図・表は短報の規定に準じます（図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください）。

1) 原稿表紙

①投稿区分（例：原著，症例報告等）

②表題（著者の責任による適切な英文も併記）

③著者：最大5名まで、筆者ごとに氏名・職種・所属施設名を明記しその英文も併記してください。

④キーワード：和文で3語付記。キーワードは、一般社団法人日本作業療法士協会ホームページの学術部「学術部編集委員会」欄の「作業療法キーワード集」の中から選択してください。

キーワード集にない用語には（ ）が必要です。

⑤責任著者の氏名，連絡先

2) 論文要旨

400字以内で和文の論文要旨をつけてください。「目的」「方法」「結果」「結論」に分けて簡潔に記載してください（特に「原著論文」の場合）。

3) 本文

1600字（40字×40行）をもって1枚とし、はじめに、方法、結果、考察、結論等が明らかになるように書いてください。書体はMS明朝体、フォントサイズは10.5ポイントとし、また原稿には頁番号をつけてください。著者は著作権や研究対象者の人権の尊重に努めてください。また、論文に関連する企業や営利団体等との利益相反（COI）のある場合は明記してください。

4) 図・表について

- ①図は白黒で印刷されるので、白黒でも区別がつく鮮明なものにしてください。
- ②図表にはすべて表題をつけ、図には説明もつけてください。
- ③本文中には図表の挿入場所を示してください。
- ④表に必要な縦線は使用しないでください。
- ⑤図表の文字サイズは8ポイントとし、書体はMSPゴシックとします。
- ⑥論文種類に応じた点数以内かつ、図は最大で縦250mm×165mm（本文と文献の2000字分）、表は最大で165mm×250mm（本文と文献の2000字分）で作成してください。図表のサイズに応じて本文文字数に換算します。

【仕上がった図・表、図・表番号、図・表の説明についての文字数換算】

片段サイズ（誌面の左半分か右半分（24字）に入る大きさ）

横80mm未満の場合 縦5mmごとに24字の文字数として換算。

段抜きサイズ（片段より大きい）

横80mm以上 165mm以内の場合 縦5mmごとに48字の文字数として換算。

全ページサイズ（縦に配置）

横80mm以上 165mm以内×縦210mm以上 250mm以内の場合 2,000文字として換算。

全ページサイズ（横に配置）

横165mm以上 250mm以内×縦165mm以内の場合 2,000文字として換算。

2, 倫理上の配慮について

論文として掲載される研究は、調査・研究の倫理的原則に従う必要があります。また投稿者は研究対象者の権利を尊重した表現を行う義務があります。県士会学術誌編集係は必要に応じてこれらの事項に関する証明を投稿者をお願いすることがあります。なお、倫理審査を経ている場合は、当該委員会等で承認された番号（ない場合は、承認年月日）を記載してください。

3, 文章表現について

- ①現代仮名遣いとし、数字は算用数字、数量は国際単位系（SI単位）を用いてください。
- ②外国の人名には原語を用い、活字体で明瞭に書いてください。
- ③略語は初出時にフルスペルで記載してください。日本語化しているものはカタカナを使用してください。

4, 引用・転載について

論文作成にあたっては、著作権についての配慮を行ってください。論文中に他の著作物からの引用を行うときには、出典を文献リストに記載し、その文献番号を該当箇所に明記してください。また、引用の範囲を超えた「転載」には、著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です。論文が掲載されるために必要となる「転載」についての手続きは、投稿者が責任を持つこととします。

5, 文献名の書き方について

①雑誌の場合

* 著者名：題名. 雑誌名, 巻数 (号) : 初頁-終頁, 発行年 (西暦)

* 著者が6名以上の場合、筆頭から5名を列記し、それ以後は「, 他」, あるいは「, et al.」としてください。

* 雑誌名を記載する場合、日本語雑誌の場合には各雑誌で決められた略称、また外国語雑誌の場合にはPubMedに掲載されている略称を用いてください。

例) 福島太郎：作業療法における〇〇について. 〇〇作業雑誌, 30 (5) : 524-528, 2010.

例) 福島太郎, 学術花子, 〇〇〇〇, 〇〇〇〇, 〇〇〇〇, 他 : 〇〇に対する質的研究. 学術〇〇作業, 20 (11) : 87-92, 2014.

②単行本の場合

* [和書] 著者 (訳者・訳) : 章タイトル. 書籍の編者・編または監修者・監修, 書名 (巻数) 版数, 出版社, 発行年, pp. (開始-終了ページ) または p. (単ページ).

* [洋書] 著者 : 章タイトル. 書籍の編者・編または監修者・監修, 書名 (巻数) 版数, 出版社, 発行都市, 発行年, pp. (開始-終了ページ) または p. (単ページ). * 著者名 : 題名. 編集者 : 書名 (巻があれば入れる), 出版社名, 発行地名, 初頁-終頁, 発行年 (西暦)

* 日本語の単行本で編者がある場合には編者名の後に「(編) :」を, また, 外国語の単行本で編者がある場合には編者名の前に「In :」を, 編者名の後に「(ed または eds) :」と書いてください。

* 外国語の書名を記載する場合には, 冠詞, 前置詞を除く単語の頭文字は大文字にしてください。

例) 作業一郎 : 〇〇作業機能評価の実践ガイド. 療法桃子 (編) : 〇〇書院, 2009. pp634-639.

例) Ben SS : Touch and body sensations. In : Ben SS (ed), Occupation Rehabilitation, 2001. pp332-338.

③インターネット上のリソースを引用する場合

* 文献として引用するのではなく, 本文の該当部分の記述の後にウェブサイトのアドレス (URL) をカッコ書きで記載してください。

例) World Federation of Occupational Therapists: About occupational therapy.

<https://wfot.org/about/about-occupational-therapy> (accessed 2020-12-15).

例) Ceravolo MG, Arienti C, de Sire A, Andrenelli E, Negrini F, et al: Rehabilitation and Covid-19: The Cochrane Rehabilitation 2020 rapid living systematic review. Eur J Phys Rehabil Med doi: 10. 23736/S1973-9087. 20. 06501-6[published online ahead of print July 24, 2020].

④引用文献は引用順に記載してください。

「福島県作業療法学」投稿承諾書

一般社団法人福島県作業療法士会学術誌編集係 殿

下記論文を、「福島県作業療法学」に投稿いたします。本論文は、今までに他誌に掲載済み、あるいは投稿中でないことを誓約します。また、「福島県作業療法学」に掲載後の本論文の著作権は一般社団法人福島県作業療法士会に帰属し、電子媒体を問わず公開方法についてその権利を委譲することを了承いたします。本論文を投稿するにあたり、共著者も投稿することに同意し、その内容に責任を持つことを承諾いたします。

論文題名 _____

筆頭著者署名 _____ 印

所属 _____ ()

共著者署名 _____ 印

所属 _____ ()

共著者署名 _____ 印

所属 _____ ()

共著者署名 _____ 印

所属 _____ ()

共著者署名 _____ 印

所属 _____ ()

* (一社) 福島県作業療法士会非会員である場合は、() に職種名をご記入ください。

_____年 _____月 _____日提出

「福島県作業療法学」投稿チェックリスト

○投稿時に下記チェックポイントで再度ご確認ください。

- 論文の内容に新規性（オリジナルティ）はありますか？
- 論文種別（原著・総説・事例報告・短報・研究ノート）は適切ですか？
- 倫理上の配慮（著作権や研究者の人権の尊重）がなされていますか？
- この論文は二重投稿（他誌に掲載済み、あるいは投稿中など）になっていませんか？
- 利益相反（COI）について書かれている場合は、記載場所（文献の前）と内容は適切ですか？
- 著者の人数は適切ですか？
- 論文の長さ、図表の数は論文種別に対して適切ですか？
- キーワードは最新キーワード集に載っていますか？
キーワード集にない用語には（ ）がついていますか？
- 文献リストは執筆要項に従って書かれていますか？
- 論文は、最新の投稿規程と執筆要項の内容に沿っていますか？